

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-206097

(43)Date of publication of application : 26.07.2002

(51)Int.Cl.

C11B 9/00
A61K 7/00
A61K 7/06
A61K 7/46
A61K 7/50

(21)Application number : 2001-003880

(71)Applicant : POLA CHEM IND INC

(22)Date of filing : 11.01.2001

(72)Inventor : SUGA CHIHOKO
OKUDA TAKEHIRO
TANIZAWA SHIGEJI
JINBO KAZUKO
YAMAMOTO MEGUMI
KASAHARA TOMOKO

(54) AESTHETIC PERFUME COMPOSITION AND COSMETIC

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method for relaxation, capable of effectively removing stress and fatigue of a patient and obtaining a deep and stable relaxation in aesthetic curing.

SOLUTION: This method comprises compounding a perfume composition to a cosmetic, wherein the perfume composition has a compound perfume of a floral herb type (aromatic floral musky type) and/or a green floral type (flesh floral musky type).

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-206097

(P2002-206097A)

(43) 公開日 平成14年7月26日 (2002.7.26)

| (51) Int.Cl. ⁷ | 識別記号 | F I | テ-マコ-ト* (参考) |
|--------------------------------------|------|--------------|--------------|
| C 1 1 B 9/00 | | C 1 1 B 9/00 | A 4 C 0 8 3 |
| A 6 1 K 7/00 | | A 6 1 K 7/00 | K 4 H 0 5 9 |
| | | | Z |
| | | | L |
| | | | N |
| 審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 13 頁) 最終頁に続く | | | |

| | | | |
|-----------|----------------------------|----------|---|
| (21) 出願番号 | 特願2001-3880 (P2001-3880) | (71) 出願人 | 000113470 ポーラ化成工業株式会社 静岡県静岡市弥生町 6 番 48 号 |
| (22) 出願日 | 平成13年 1 月 11 日 (2001.1.11) | (72) 発明者 | 菅 千帆子 東京都品川区西五反田 2-2-3 ポーラ 化粧品本舗株式会社内 |
| | | (72) 発明者 | 奥田 剛弘 東京都品川区西五反田 2-2-3 ポーラ 化粧品本舗株式会社内 |
| | | (72) 発明者 | 谷沢 茂治 神奈川県横浜市神奈川区高島台 27 番地 1 ポーラ化成工業株式会社ポーラ横浜研究所 内 |
| | | 最終頁に続く | |

(54) 【発明の名称】 エステティック用香料組成物及び化粧料

(57) 【要約】

【課題】 エステティック施術において、被施術者のストレスや疲労を効率的に取り除き、深く安定したディープリラクゼーションが得られるリラクゼーション方法を提供することを課題とする。

【解決手段】 フローラルハーブ調（アロマティックフローラルムスキー調）及び／又は、グリーンフローラル調（フレッシュフローラルムスキー調）の調香を有する香料組成物を化粧料に配合する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】フローラルハーブ調（アロマティックフローラルムスキー調）及び／又は、グリーンフローラル調（フレッシュフローラルムスキー調）の調香を有することを特徴とする、エステティック用の香料組成物。

【請求項2】 シソ科の植物の香料を含有することを特徴とする、請求項1に記載の香料組成物。

【請求項3】 更に、ユーカリ精油を含有することを特徴とする請求項1又は2に記載の香料組成物。

【請求項4】フローラルハーブ調（アロマティックフローラルムスキー調）の香料成分が、ラバンジンオイル、ゼラニウムオイル、オレンジオイル、ローズマリーオイル、セージオイル、ユーカリオイルなど約70%を含有することを特徴とする、請求項1～3に記載の香料組成物。

【請求項5】グリーンフローラル調（フレッシュフローラルムスキー調）の香料成分が、ゼラニウムオイル、ローズマリーオイル、ユーカリオイル、ラバンジンオイル、オレンジオイルなど約70%を含有することを特徴とする、請求項1～3に記載の香料組成物。

【請求項6】 リラクゼーションの為のエステティック用であることを特徴とする、請求項1～5に記載の香料組成物。

【請求項7】請求項1～6の香料組成物を含有することを特徴とする化粧品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、エステティック用香料組成物及び化粧品。

【0002】

【従来の技術】

【0003】エステティックという言葉には、美学・審美・美意識と言うことを表している。そしてエステティックの本質は、人の心にある「美しくありたい」と言う、欲求を実現し幸せと満足感を与えることであると言われている。現在、女性のエステティック志向が高まっており、この原因として、心身を取り巻く環境の劣悪化が影響している。例えば、女性のライフスタイルの変化、即ち、非婚、少子化、男女雇用機会均等法等が社会的ストレスを増幅させ、こうした生活環境の中で、リラクゼーションが一番求められており、それに付随した美的要素のあるエステティックが注目されている。特に、エッセンシャルオイルを配合した化粧品などによるマッサージのリラクゼーション効果は、心身の緊張を取り除きホメオスタシスを維持すると言われている。

【0004】この様に、エッセンシャルオイルは、現在、流行のエステティック施術に用いられる化粧品やアロマセラピーに使用される重要な成分である。エッセンシャルオイルは、植物の花、葉、果皮、種子、樹脂、木部、球根などから水蒸気蒸留、あるいは圧搾などにより

抽出されたものであり、産地により香りの違いがある。香りの持つ生理的な働きを活用したアロマセラピーは、アロマバス（全身浴・半身浴：ストレス解消と言う意味で精神的効果がある）、芳香浴：精神的効果のみではなく、室内の空気の清浄化や虫除けの効果、湿布：冷湿布と温湿布がある、吸入法：フェイシャルサウナとしての効果がある又、エステティック施術におけるマッサージにより有効成分を肌から体内に吸収させる方法等があり、又、各人の体調にあったエステティック施術やアロマセラピーに於けるエッセンシャルオイルの選択は重要であると言われている。何故なら、エッセンシャルオイルは、肉体的及び精神的に働きかけ、リラクゼーションを導き、ストレスの解消を促進し、脳の働きを改善すると言われている。また、エステティック施術においては、エッセンシャルオイルは、マッサージと共に皮膚に働きかけ、体の免疫機構に大きな役割をはたし、神経系と密に相互に影響することにより、内分泌－神経－免疫系を活性化すると皮肉や体の健康・美に結びついていることが、科学的に明らかとなりつつある。

【0005】更に、エステティック施術時に、香料中にシソ科植物やフトモモ科植物のエッセンシャルオイルを含有する化粧品を用い、マッサージをすることにより、効果的に被施術者のストレスや疲労を取り除くと共に、末梢の血行を促進し、より深く安定したディープリラクゼーション状態に早く導くことが可能であることは知られていない。また、被施術者に手足のブレマッサージをすることで、より効果的に、なり、手先や足先を触ることで、冷えやこりの状態を把握し、の度合いなど心身の状態を知る手がかりとなり、お客さま個人個人に対する的確なお手入れが可能になり、その後のエステティック施術により、ディープリラクゼーションが得られることは、今まで知られていなかった。また、ブレカウンセリングとブレマッサージの組み合わせにより、エステティックのお手入れ効率が上がり、被施術者が肉体的・精神的にリラクゼーションでき良好な結果が得られることも知られていない。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、このような状況下為されたものであり、エステティック施術において、被施術者のストレスや疲労を効率的に取り除き、深く安定したディープリラクゼーションが得られるリラクゼーション方法を提供することを課題とする。

【0007】

【課題の解決手段】本発明者らは、このような状況に鑑みて、エステティック施術において、被施術者のストレスや疲労を効率的に取り除き、深く安定したディープリラクゼーション方法を提供する手段を求めて、鋭意研究努力を重ねた結果、エステティック施術時に用いる化粧品中にフローラルハーブ調（アロマティックフローラルムスキー調；別名）及び／又は、グリーンフローラル調

(フレッシュフローラルムスキー調；別名)の香料を配合する事によりその様な特性を見だし、発明を完成させるに至った。こと即ち、本発明は、次に示す技術に関するものである。

【0008】(1)フローラルハーブ調(アロマティックフローラルムスキー調)及び／又は、グリーンフローラル調(フレッシュフローラルムスキー調)の調香を有することを特徴とする、エステティック用の香料組成物。

(2)シソ科の植物の香料を含有することを特徴とする、(1)に記載の香料組成物。

(3)更に、ユーカリ精油を含有することを特徴とする(1)又は(2)に記載の香料組成物。

(4)フローラルハーブ調(アロマティックフローラルムスキー調)の香料成分が、ラバンジンオイル、ゼラニウムオイル、オレンジオイル、ローズマリーオイル、セージオイル、ユーカリオイルなど約70%を含有することを特徴とする、(1)～(3)に記載の香料組成物。

(5)グリーンフローラル調(フレッシュフローラルムスキー調)の香料成分が、ゼラニウムオイル、ローズマリーオイル、ユーカリオイル、ラバンジンオイル、オレンジオイルなど約70%を含有することを特徴とする、(1)～(3)に記載の香料組成物。

(6)リラクゼーションの為のエステティック用であることを特徴とする、(1)～(5)に記載の香料組成物。

(7)(1)～(6)の香料組成物を含有することを特徴とする化粧料。

【0009】

【発明の実施の形態】(1)本発明のフローラルハーブ調(アロマティックフローラルムスキー調)及び／又は、グリーンフローラル調(フレッシュフローラルムスキー調)の調香を有する香料組成物。

本発明は、フローラルハーブ調(アロマティックフローラルムスキー調)及び／又は、グリーンフローラル調(フレッシュフローラルムスキー調)の調香を有することを特徴とする。フローラルハーブ調(アロマティックフローラルムスキー調)の香料組成物は、天然のラバンジンオイル、ゼラニウムオイル、オレンジオイル、ローズマリーオイル、セージオイル、ユーカリオイルなどのアロマハーブをトップに各々約0.5～5%配合するのが好ましく、更に、ヘジオン(メチルジヒドロジャスモネート)、リナロール、ムスクC-14(エチレンジデカンジオエート)、リナリルアセテート、シトロネロール、フェニルエチルアルコール、リリアル、ライラル、イオノンベータ、ヘリオナル、ベンジルアセテート、ガラクソライドなどを約0.5～3%配合することが好ましい。一方、グリーンフローラル調(フレッシュフローラルムスキー調)の香料組成物は、ゼラニウムオイル、ローズマリーオイル、ユーカリオイル、ラバンジンオイ

ル、オレンジオイルなどのアロマハーブをアクセント各々約1～7%配合するのが好ましく、更に、ムスクC-14(エチレンジデカンジオエート)、ヘジオン(メチルジヒドロジャスモネート)、シトロネロール、フェニルエチルアルコール、リリアル、ライラル、リナロール、イオノンベータ、リナリルアセテート、ジヒドロミルセノール、リーフアルコール、ヘリオナルなどを約0.1～3%配合することが好ましい。これらの香料組成物には、エッセンシャルオイルだけでなく、香料組成物の安定化や希釈のために、通常、エタノールや多価アルコールが配合される。多価アルコールの種類としては、酸化エチレン、エチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、ポリエチレングリコール200、ポリエチレングリコール300、ポリエチレングリコール400、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、ソルビトール、1,3-ブチレングリコール等が挙げられる。これらは唯一種を含有させることも出来るし、二種以上組み合わせて含有させることも出来る。本発明の香料組成物中に含有させるエタノール及び多価アルコールは、好ましい含有量は、0.1～60重量%であり、更に好ましくは1～40重量%である。これは、多すぎると皮膚刺激などの副作用が生じる場合があり、少なすぎると香料組成物の安定化が保てないからである。

【0010】(2)本発明のエステティック用化粧料
本発明の化粧料は、フローラルハーブ調(アロマティックフローラルムスキー調)及び／又は、グリーンフローラル調(フレッシュフローラルムスキー調)の調香を有する香料組成物を含有することを特徴とする。本発明の化粧料は、エステティックによるマッサージ時に用いられる。本化粧料を用いたエステティック施術により、深いリラクゼーションが得られ、精神的、肉体的な緊張、疲労、中でも加齢変化によるシミ、かさつき・肌荒れ、くすみ・血色、しわ・たるみ、皮脂・ふきでもの・きび・ぶつ、しみ・そばかす、日焼け、赤ら顔などの皮膚の変化を抑制・改善し、肌にうるおい、しっとり感、あかぬけ、透明感、みずみずしさ、やわらか感、さっぱり感、すべすべ感、スッキリ感、サラサラ感、ハリを持たせ、美しく保つことが出来ることから、エステティック用の化粧料として用いるのが特に好ましい。本発明の化粧料では、上記必須成分以外に通常皮膚外用組成物で使用する任意成分を含有することが出来る。かかる任意成分としては、例えば、ワセリンやマイクロクリスタリンワックス等のような炭化水素類、ホホバ油やゲイロウ等のようなエステル類、牛脂やオリーブ油等のトリグリセライド類、セタノール、オレイルアルコール等の高級アルコール類、ステアリン酸、オレイン酸等の脂肪酸類、グリセリンや1,3-ブチレングリコール等の多価アルコール類、非イオン界面活性剤、アニオン界面活性剤、カチオン界面活性剤、両性界面活性剤、エタノー

ル、カーボボール等の増粘剤、防腐剤、紫外線吸収剤、抗酸化剤、色素、粉体類等が好ましく例示できる。これらの成分を常法に従って処理することにより、本発明の化粧料を製造することが出来る。エステティック時に使用する剤形としては、クレンジング、水性洗顔料、ローション、ミルク、エッセンス、クリーム、パック剤形（ピーリング、ジェル、フォーム、クリーム）、マッサージ剤形（ジェル、クリーム）、温感ジェル、オイル剤、アンダーメーク、ファンデーションを選択すること＊

＊が好ましい。

【0011】

【実施例】以下に実施例を挙げて更に詳細に本発明について説明を加えるが、本発明がこれら実施例にのみ、限定を受けないことは言うまでもない。

【0012】＜実施例1＞フローラルハーブ調（アロマティックフローラルムスキー調）香料組成物1

常法に従って、室温で、攪拌・可溶化を行い香料組成物1を得た。

| | |
|-------------------------|--------|
| ラバンジンオイル | 3.5重量部 |
| ゼラニウムオイル | 4.9重量部 |
| オレンジオイル | 3.5重量部 |
| ローズマリーオイル | 4.0重量部 |
| セージオイル | 3.8重量部 |
| ユーカリオイル | 4.9重量部 |
| ヘジオン（メチルジヒドロジャスモネート） | 3.3重量部 |
| リナロール | 2.1重量部 |
| ムスクC-14（エチレンドデカンジオエート） | 1.5重量部 |
| リナリルアセテート | 1.5重量部 |
| シトロネロール | 2.5重量部 |
| フェニルエチルアルコール | 4.1重量部 |
| リリアル | 2.2重量部 |
| ライラル | 1.7重量部 |
| イオノンベータ | 0.9重量部 |
| ヘリオナル | 1.2重量部 |
| ベンジルアセテート | 0.7重量部 |
| ガラクソライド | 0.4重量部 |
| ポリオキシエチレン硬化ひまし油(S0 E.O) | 0.5重量部 |
| プロピレングリコール | 5重量部 |
| エタノール | 10重量部 |

【0013】＜実施例2＞フローラルハーブ調（アロマティックフローラルムスキー調）香料組成物2

※常法に従って、室温で、攪拌・可溶化を行い香料組成物2を得た。

| | |
|------------------------|--------|
| ラバンジンオイル | 4.5重量部 |
| ゼラニウムオイル | 3.9重量部 |
| オレンジオイル | 4.5重量部 |
| ローズマリーオイル | 3.0重量部 |
| セージオイル | 4.8重量部 |
| ユーカリオイル | 3.9重量部 |
| ヘジオン（メチルジヒドロジャスモネート） | 2.3重量部 |
| リナロール | 3.1重量部 |
| ムスクC-14（エチレンドデカンジオエート） | 0.5重量部 |
| リナリルアセテート | 2.5重量部 |
| シトロネロール | 3.5重量部 |
| フェニルエチルアルコール | 5.1重量部 |
| リリアル | 1.2重量部 |
| ライラル | 0.9重量部 |
| イオノンベータ | 1.7重量部 |
| ヘリオナル | 0.7重量部 |
| ベンジルアセテート | 1.2重量部 |
| ガラクソライド | 0.5重量部 |

| | |
|-------------------------|--------|
| ポリオキシエチレン硬化ひまし油(50 E.O) | 0.5重量部 |
| ポリエチレングリコール400 | 5重量部 |
| エタノール | 10重量部 |

【0014】＜実施例3＞グリーンフローラル調（フレッシュフローラルムスキー調）香料組成物3 ※ 常法に従って、室温で、攪拌・可溶化を行い香料組成物3を得た。

| | |
|-------------------------|--------|
| ラバンジンオイル | 3.5重量部 |
| ゼラニウムオイル | 4.9重量部 |
| オレンジオイル | 3.5重量部 |
| ローズマリーオイル | 4.0重量部 |
| ユーカリオイル | 4.9重量部 |
| ヘジオン（メチルジヒドロジャスモネート） | 3.3重量部 |
| リナロール | 2.1重量部 |
| ムスクC-14（エチレンドデカンジオエート） | 1.5重量部 |
| リナリルアセテート | 1.5重量部 |
| シトロネロール | 2.5重量部 |
| フェニルエチルアルコール | 4.1重量部 |
| リリアル | 2.2重量部 |
| ライラル | 1.7重量部 |
| イオノンベータ | 0.9重量部 |
| ヘリオナル | 1.2重量部 |
| ベンジルアセテート | 0.7重量部 |
| ガラクソライド | 0.4重量部 |
| リーフアルコール | 1.3重量部 |
| ヘリナル | 1.5重量部 |
| ポリオキシエチレン硬化ひまし油(50 E.O) | 0.5重量部 |
| 1,3-ブチレングリコール | 5重量部 |
| エタノール | 10重量部 |

【0015】＜実施例4＞フローラルハーブ調（フレッシュフローラルムスキー調）香料組成物4 ※ 常法に従って、室温で、攪拌・可溶化を行い香料組成物4を得た。

| | |
|-------------------------|--------|
| ラバンジンオイル | 4.5重量部 |
| ゼラニウムオイル | 3.9重量部 |
| オレンジオイル | 4.5重量部 |
| ローズマリーオイル | 3.0重量部 |
| ユーカリオイル | 3.9重量部 |
| ヘジオン（メチルジヒドロジャスモネート） | 2.3重量部 |
| リナロール | 3.1重量部 |
| ムスクC-14（エチレンドデカンジオエート） | 0.5重量部 |
| リナリルアセテート | 2.5重量部 |
| シトロネロール | 3.5重量部 |
| フェニルエチルアルコール | 5.1重量部 |
| リリアル | 1.2重量部 |
| ライラル | 0.9重量部 |
| イオノンベータ | 1.7重量部 |
| ヘリオナル | 0.7重量部 |
| ベンジルアセテート | 1.2重量部 |
| ガラクソライド | 0.5重量部 |
| リーフアルコール | 1.3重量部 |
| ヘリナル | 1.5重量部 |
| ポリオキシエチレン硬化ひまし油(50 E.O) | 0.5重量部 |
| 1,3-ブチレングリコール | 5重量部 |

【0016】＜実施例5＞香料組成物の脳波に対する影響

香料組成物1～4を用いて、これらの香料組成物の香りによる脳波への影響を求めた。ボランティアは、各々3人ずつ集め、ムレット（濾紙）に各香料組成物を適量添付し、鼻先で3分間嗅がせた。その後、β波、Fast-α波、Middle-α波、Slow-α波、θ波の各脳波の占有率を求めた。（β波：頭が活発な状態、Fast-α波：頭がスッキリした状態、Middle-α波：頭が少しウトウトした状態、Slow-α波：頭がウトウトした状態、θ波：頭が眠っている状態を示す）表1を見てわかるように、β波が減少し、Middle-α波が著しく増加し、Slow-α波及びθ波が微増していることから、エステティック化粧料に配合される香料組成物1～4は、被施術者を十分にリラク

（A剤）

| | |
|--------|---------|
| ババイン | 0.1重量部 |
| 香料組成物1 | 0.2重量部 |
| カオリン | 68.7重量部 |
| タルク | 4.2重量部 |
| 酸化チタン | 10.7重量部 |
| 酸化亜鉛 | 1重量部 |
| 無水ケイ酸 | 15重量部 |

（B剤）

| | |
|--------------------------|---------|
| ポリエチレングリコール1500 | 1.5重量部 |
| 1,3-ブチレングリコール | 2.0重量部 |
| グリセリン | 10重量部 |
| 苛性カリ | 0.05重量部 |
| バラオキシ安息香酸メチル | 0.2重量部 |
| 尿素 | 0.01重量部 |
| アルギン酸ナトリウム | 0.3重量部 |
| ポリオキシエチレン硬化ひまし油（50 E.O.） | 0.5重量部 |
| 精製水 | 82.5重量部 |

【0019】＜実施例7＞ホットジェル

以下に示す処方に従って、常法により本発明のホットジ※

| | |
|--------------|---------|
| グリセリン | 76.5重量部 |
| ジブロピレングリコール | 15重量部 |
| 1,2-ペンタンジオール | 5重量部 |
| トリエタノールアミン | 0.2重量部 |
| 黄酸化鉄 | 0.01重量部 |
| 黒酸化鉄 | 0.01重量部 |
| グンジョウ | 0.01重量部 |
| セバシン酸ジイソプロピル | 0.1重量部 |
| 香料組成物1 | 0.1重量部 |
| バラオキシ安息香酸メチル | 0.03重量部 |
| ポリエチレン末 | 1.6重量部 |
| 含流ケイ酸アルミニウム | 0.01重量部 |
| ブクリョウエキス | 0.1重量部 |
| カルボキシビニルポリマー | 0.4重量部 |
| 結晶セルロース | 0.7重量部 |

10 重量部

* ックスさせる効果があることがわかる。

【0017】

【表1】

| 脳波及び 占有率(%) | 香料組成 物1 | 香料組成 物2 | 香料組成 物3 | 香料組成 物4 |
|----------------|------------|------------|------------|------------|
| β波 | 48.2 | 18.2 | 10.8 | 17.8 |
| Fast-α波 | 26.8 | 17.8 | 28.8 | 20.0 |
| Middle-α波 | 8.8 | 46.1 | 42.8 | 48.3 |
| Slow-α波 | 1.2 | 13.8 | 16.8 | 16.0 |
| θ波 | 3.0 | 3.4 | 4.8 | 4.2 |

【0018】＜実施例6＞バック

以下に示す処方に従って、常法により本発明のバック剤を作成した。このものはエステティック施術に於いてディープリラクゼーションに寄与していた。

※エルを作成した。このものはエステティック施術に於いてディープリラクゼーションに寄与していた。

オイルセンサーパウダー

【0020】＜実施例8＞バック

以下に示す処方に従って、常法により本発明のバック剤＊

1, 3-ブチレングリコール
ベンガラ
ホホバ油
香料組成物2
ポリリン酸ナトリウム
アルギン酸ナトリウム
カオリン
タルク
結晶セルロース
無水ケイ酸

【0021】＜実施例9＞オイルマスク

以下に示す処方に従って、常法により本発明のオイルマ※

1, 3-ブチレングリコール
水酸化クロム
ホホバ油
セバシン酸ジイソプロピル
香料組成物2
ポリリン酸ナトリウム
アルギン酸ナトリウム
硫酸カルシウム
カオリン
タルク
結晶セルロース
無水ケイ酸
オイルセンサーパウダー

【0022】＜実施例10＞バック

以下に示す処方に従って、常法により本発明のバック剤★30

1, 3-ブチレングリコール
ホホバ油
香料組成物2
トウキエキス
ポリリン酸ナトリウム
油溶性カンゾウエキス
アルギン酸ナトリウム
ショ糖
デキストリン
カオリン
タルク
無水ケイ酸

【0023】＜実施例11＞アロママスク

以下に示す処方に従って、常法により本発明のアロママ☆

1ブチレングリコール
グリセリン
ベヘニルアルコール
セタノール
紫色401号
バラオキシ安息香酸メチル

0.01重量部

＊を作成した。このものはエステティック施術に於いてデ
ィーブリラクゼーションに寄与していた。

2.4 重量部
0.01 重量部
3.2 重量部
0.05 重量部
2.6 重量部
12 重量部
6 重量部
29.2 重量部
3.55 重量部
15 重量部

※スクを作成した。このものはエステティック施術に於い
てディーブリラクゼーションに寄与していた。

2.4 重量部
0.1 重量部
3.2 重量部
0.01 重量部
0.05 重量部
2.6 重量部
12 重量部
26 重量部
6 重量部
29.2 重量部
3.4 重量部
15 重量部
0.01 重量部

★を作成した。このものはエステティック施術に於いてデ
ィーブリラクゼーションに寄与していた。

8 重量部
7 重量部
0.05 重量部
0.01 重量部
4 重量部
0.01 重量部
13 重量部
20 重量部
5.93 重量部
1 重量部
1 重量部
14 重量部

☆スクを作成した。このものはエステティック施術に於い
てディーブリラクゼーションに寄与していた。

5 重量部
12 重量部
1.5 重量部
1.5 重量部
0.02 重量部
0.3 重量部

| | | |
|-----------------------------|------|-----|
| バラオキシ安息香酸ブチル | 0.1 | 重量部 |
| d- δ -トコフェロール | 0.01 | 重量部 |
| ニンジンエキス | 0.01 | 重量部 |
| ブクリョウエキス | 0.01 | 重量部 |
| マルメロBG(クインシードエキス98%) | 7 | 重量部 |
| 香料組成物3 | 0.25 | 重量部 |
| モノステアリン酸ポリエチレングリコール(50E.O.) | 1.5 | 重量部 |
| ポリオキシエチレンベヘニルエーテル(20 E.O.) | 0.7 | 重量部 |
| モノオレイン酸デカグリセリル | 3.5 | 重量部 |
| ステアリン酸 | 0.7 | 重量部 |
| 精製水 | 65.7 | 重量部 |

【0024】＜実施例12＞ボディーオイル

* オイルを作成した。このものはエステティック施術に於いてディーブリラクゼーションに寄与していた。

以下に示す処方に従って、常法により本発明のボディー*

| | | |
|------------------------|-------|-----|
| 1, 2-ペンタンジオール | 0.05 | 重量部 |
| トリ-2-エチルヘキサン酸グリセリン | 5 | 重量部 |
| ローズヒップ油 | 1 | 重量部 |
| ヘーゼルナッツ油 | 1 | 重量部 |
| トリ-2-エチルヘキサン酸ペンタエリスリット | 8 | 重量部 |
| スクワラン | 83.69 | 重量部 |
| バラオキシ安息香酸ブチル | 0.1 | 重量部 |
| d- δ -トコフェロール | 0.05 | 重量部 |
| ブクリョウエキス | 0.01 | 重量部 |
| 香料組成物2 | 0.2 | 重量部 |
| セスキイソステアリン酸ソルビタン | 0.9 | 重量部 |

【0025】＜実施例13＞脱毛剤

* 作成した。このものはエステティック施術に於いてディーブリラクゼーションに寄与していた。

以下に示す処方に従って、常法により本発明の脱毛剤を*

| | | |
|---|----|-----|
| グリセリン | 15 | 重量部 |
| コーンシロップ | 50 | 重量部 |
| ハチミツ | 1 | 重量部 |
| 塩化N-[2ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]加水分解クラチン | 34 | 重量部 |

【0026】＜実施例14＞クレンジングクリーム

★ ングクリームを作成した。このものはエステティック施術に於いてディーブリラクゼーションに寄与していた。

以下に示す処方に従って、常法により本発明のクレンジ★

| | | |
|------------------------------|------|-----|
| 1, 3-ブチレングリコール | 3 | 重量部 |
| ベヘニルアルコール | 1.4 | 重量部 |
| N-ラウロイル-L-グルタミン酸ジコレステリル | | |
| ・オクチルドデシル | 0.1 | 重量部 |
| メチルポリシロキサン | 5 | 重量部 |
| 流動パラフィン | 28 | 重量部 |
| バラオキシ安息香酸ブチル | 0.1 | 重量部 |
| バラオキシ安息香酸メチル | 0.3 | 重量部 |
| d- δ -トコフェロール | 0.05 | 重量部 |
| フェノキシエタノール | 0.3 | 重量部 |
| ブクリョウエキス | 0.01 | 重量部 |
| 香料組成物3 | 0.05 | 重量部 |
| モノステアリン酸ポリエチレングリコール(25 E.O.) | 2 | 重量部 |
| モノステアリン酸ソルビタン | 0.8 | 重量部 |
| 自己乳化型モノステアリン酸グリセリン | 1 | 重量部 |
| イステアリン酸ポリエチレングリコール(12 E.O.) | 0.5 | 重量部 |
| イステアリン酸ポリエチレングリセリル | 1.2 | 重量部 |
| グリセリン脂肪酸エステル | 25 | 重量部 |

サラシミツロウ

2.5 重量部

精製水

22.65 重量部

【0027】＜実施例15＞アクアフォーム

*フォームを作成した。このものはエステティック施術に於いてディープリラクゼーションに寄与していた。

以下に示す処方に従って、常法により本発明のアクアフ＊

1, 3-ブチレングリコール

3.5 重量部

グリセリン

10 重量部

ベヘニルアルコール

0.7 重量部

セタノール

0.7 重量部

香料組成物

0.03 重量部

バラオキシ安息香酸ブチル

0.1 重量部

クエン酸ナトリウム

0.05 重量部

バラオキシ安息香酸メチル

0.2 重量部

d-δ-トコフェロール

0.05 重量部

マルメロBG(クインシードエキス98%)

3 重量部

モノステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20 E.O.)

1 重量部

モノステアリン酸ポリエチレングリコール(150 E.O.)

0.2 重量部

ポリオキシエチレンベヘニルアルコール(20 E.O.)

0.2 重量部

ポリオキシエチレン・メチルポリシロキサン共重合体

0.4 重量部

ステアリン酸

0.3 重量部

精製水

79.5 重量部

【0028】＜実施例16＞マッサージクリーム

*クリームを作成した。このものはエステティック施術に於いてディープリラクゼーションに寄与していた。

以下に示す処方に従って、常法により本発明のマッサージ＊

ベヘニルアルコール

2 重量部

1, 2-ペンタンジオール

3 重量部

苛性カリ

0.1 重量部

トリイソステアリン酸ジグリセリル

3 重量部

グリセリン脂肪酸エステルアジピン酸縮合物

2 重量部

2-エチルヘキサン酸セチル

5 重量部

N-ラウロイル-L-グルタミン酸ジ(コレステリル・オクチルドデシル

0.1 重量部

スクワラン

15 重量部

メチルポリシロキサン

20 重量部

ビタミンE

0.05 重量部

グリチルリチン酸ジカリウム

0.01 重量部

バラオキシ安息香酸メチル

0.2 重量部

キサンタンガム

0.1 重量部

d-δ-トコフェロール

0.1 重量部

香料組成物4

0.3 重量部

モノステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20 E.O.)

1.5 重量部

親油型モノステアリン酸グリセリン

1 重量部

モノオレイン酸ポリエチレングリコール

0.5 重量部

イソステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル

0.5 重量部

グリセリン脂肪酸エステル

5 重量部

ステアリン酸

2 重量部

サラシミツロウ

1.5 重量部

精製水

31.05 重量部

【0029】＜実施例17＞ジェルパック

★パックを作成したこのものはエステティック施術に於いてディープリラクゼーションに寄与していた。

以下に示す処方に従って、常法により本発明のジェルパ★

セタノール

0.2 重量部

1, 3-ブチレングリコール

3.7 重量部

17

18

| | | |
|---------------------------------------|-------|-----|
| グリセリン | 10 | 重量部 |
| ジグリセリン | 5 | 重量部 |
| 苛性カリ | 0.15 | 重量部 |
| メチルポリシロキサン | 3.876 | |
| 高分子メチルポリシロキサンII—デカメチルシクロペンタシロキサン(15%) | | |
| 溶液 | 4 | 重量部 |
| バラオキシ安息香酸メチル | 0.15 | 重量部 |
| ヒアルロン酸ナトリウム | 0.01 | 重量部 |
| カラメル | 0.01 | 重量部 |
| キサンタンガムII | 0.05 | 重量部 |
| トリメチルグリシン | 0.05 | 重量部 |
| カルボキシビニルポリマー | 0.3 | 重量部 |
| ブクリョウエキス | 0.01 | 重量部 |
| 香料組成物4 | 0.1 | 重量部 |
| ポリオキシエチレン硬化ひまし油(50 E.O.) | 0.1 | 重量部 |
| 親油型モノステアリン酸グリセリン | 0.2 | 重量部 |
| モノステアリン酸* リチレン* リコール(150 E.O.) | 0.4 | 重量部 |
| * リオキシ* フレン* リグ* リセリンステアリルエーテル | 0.2 | 重量部 |

【0030】<実施例18>ジェルパック

* ックを作成した。このものはエステティック施術に於いて

以下に示す処方に従って、常法により本発明のジェルパ*20 てディープリラクゼーションに寄与していた。

| | | |
|--------------------------|------|-----|
| グリセリン | 10 | 重量部 |
| ジグリセリン | 5 | 重量部 |
| 1, 2-ペンタンジオール | 5 | 重量部 |
| 苛性カリ | 0.05 | 重量部 |
| シリコンエマルジョン | 20 | 重量部 |
| バラオキシ安息香酸メチル | 0.1 | 重量部 |
| ヒアルロン酸ナトリウム | 0.01 | 重量部 |
| カラメル | 0.01 | 重量部 |
| キサンタンガムII | 0.05 | 重量部 |
| トリメチルグリシン | 0.05 | 重量部 |
| カルボキシビニルポリマー | 0.3 | 重量部 |
| ブクリョウエキス | 0.01 | 重量部 |
| 香料組成物3 | 0.1 | 重量部 |
| ポリオキシエチレン硬化ひまし油(50 E.O.) | 0.1 | 重量部 |
| 精製水 | 56.5 | 重量部 |

【0031】<実施例19>トリートメント以下に示す

※ 成した。このものはエステティック施術に於いてディー

処方に従って、常法により本発明のトリートメントを作※

ブリラクゼーションに寄与していた。

| | | |
|----------------|-------|-----|
| 1, 3-ブチレングリコール | 2.4 | 重量部 |
| 黄酸化鉄 | 0.05 | 重量部 |
| ホホバ油 | 3.2 | 重量部 |
| 香料組成物4 | 0.05 | 重量部 |
| トウキエキス | 0.01 | 重量部 |
| ポリリン酸ナトリウム | 2.6 | 重量部 |
| アルギン酸ナトリウム | 12 | 重量部 |
| 硫酸カルシウム | 26 | 重量部 |
| カオリン | 29.15 | 重量部 |
| タルク | 3.5 | |
| 結晶セルロース | 3.5 | 重量部 |
| 無水ケイ酸 | 15 | 重量部 |

【0032】<実施例20>セッコウパック

50 以下に示す処方に従って、常法により本発明のセッコウ

バックを作成した。このものはエステティック施術に於て * いてディープリラクゼーションに寄与していた。

| | |
|---------|----------|
| 黄酸化鉄 | 0.08 重量部 |
| 香料組成物4 | 0.02 重量部 |
| 塩化ナトリウム | 1.3 重量部 |
| キサンタンガム | 0.2 重量部 |
| カラミン | 5 重量部 |
| 焼セッコウ | 83.2 重量部 |
| カオリン | 5 重量部 |
| 無水ケイ酸 | 5 重量部 |
| セリサイト | 2 重量部 |

【0033】＜実施例21＞トリートメント

※メントを作成した。このものはエステティック施術に於

以下に示す処方に従って、常法により本発明のトリートメント * いてディープリラクゼーションに寄与していた。

(A剤)

| | |
|-------------------------------|----------|
| ポリエチレングリコール400 | 55 重量部 |
| 1,3-BG | 13.5 重量部 |
| ベヘニルアルコール | 0.7 重量部 |
| セタノール | 4.2 重量部 |
| 黄酸化鉄 | 0.04 重量部 |
| ベンガラ | 0.03 重量部 |
| 黒酸化鉄 | 0.02 重量部 |
| 香料組成物4 | 0.08 重量部 |
| リン酸一カリ | 1.4 重量部 |
| 重炭酸ナトリウム | 4.15 重量部 |
| キサンタンガム | 0.13 重量部 |
| カオリン | 6.85 重量部 |
| タルク | 0.03 重量部 |
| 酸化チタン | 0.05 重量部 |
| 無水ケイ酸 | 4 重量部 |
| モノステアリン酸ホリエチレングリコール(150 E.O.) | 2 重量部 |
| ステアリン酸 | 1.5 重量部 |

(B剤)

| | |
|--------------|---------|
| 苛性カリ | 3.5 重量部 |
| クエン酸 | 16 重量部 |
| バラオキシ安息香酸メチル | 0.1 重量部 |
| フェノキシエタノール | 0.3 重量部 |
| 精製水 | 80 重量部 |

【0034】＜実施例22＞ボディートリートメント

★施術に於いてディープリラクゼーションに寄与していた。

以下に示す処方に従って、常法により本発明のボディートリートメントを作成した。このものはエステティック★

(A剤)

| | |
|----------------|----------|
| ポリエチレングリコール400 | 54.2 重量部 |
| 1,3-ブチレングリコール | 13.5 重量部 |
| ベヘニルアルコール | 0.65 重量部 |
| セタノール | 4 重量部 |
| 黒酸化鉄 | 0.06 重量部 |
| 水酸化クロム | 0.08 重量部 |
| 香料組成物2 | 0.08 重量部 |
| ビタミンE | 0.08 重量部 |
| リン酸一カリ | 1.35 重量部 |
| 重炭酸ナトリウム | 4.05 重量部 |

| | |
|------------------------------|-----------|
| キサンタンガム | 0.14 重量部 |
| 含流ケイ酸アルミニウム | 1.35 重量部 |
| 硫酸化マグネシウム | 4.06 重量部 |
| カオリン | 6.8 重量部 |
| 無水ケイ酸 | 4.05 重量部 |
| モノステアリン酸ホリチレングリコール(150 E.O.) | 1.35 重量部 |
| モノオレイン酸デカグリセリル | 2.7 重量部 |
| ステアリン酸 | 1.4 重量部 |
| (B剤) | |
| 苛性カリ | 3.53 重量部 |
| トウガラシチンキ | 0.02 重量部 |
| クエン酸 | 16 重量部 |
| パラオキシ安息香酸メチル | 0.1 重量部 |
| フェノキシエタノール | 0.3 重量部 |
| 精製水 | 80.05 重量部 |

【0035】

【発明の効果】本発明によれば、エステティック施術において、被施術者のストレスや疲労を効率的に取り除く

* き、深く安定したディープリラクゼーションが得られるリラクゼーション方法を提供することができる。

フロントページの続き

| (51)Int.Cl. | 識別記号 | F I | ターマコード (参考) |
|--------------|-------|--------------|-------------|
| A 6 1 K 7/00 | | A 6 1 K 7/00 | R |
| | | | S |
| | | | U |
| 7/06 | | 7/06 | |
| 7/46 | | 7/46 | A |
| | 3 1 5 | | 3 1 5 Z |
| | 3 4 5 | | 3 4 5 Z |
| | 3 5 5 | | 3 5 5 E |
| | 3 8 5 | | 3 8 5 A |
| | | | 3 8 5 G |
| 7/50 | | 7/50 | |

(72)発明者 神保 和子
神奈川県横浜市神奈川区高島台27番地1
ポーラ化成工業株式会社ポーラ横浜研究所
内

(72)発明者 山本 めぐみ
神奈川県横浜市神奈川区高島台27番地1
ポーラ化成工業株式会社ポーラ横浜研究所
内

(72)発明者 笠原 智子
神奈川県横浜市戸塚区 柏尾町560番地
ポーラ化成工業株式会社ポーラ戸塚研究所
内

F ターム(参考) 4C083 AA072 AA111 AA112 AA122
AB032 AB172 AB212 AB232
AB242 AB282 AB312 AB332
AB362 AB372 AB432 AB442
AC022 AC072 AC112 AC122
AC172 AC182 AC242 AC302
AC372 AC402 AC422 AC432
AC442 AC482 AC542 AC582
AC662 AC682 AC792 AD022
AD042 AD092 AD152 AD172
AD212 AD222 AD242 AD262
AD302 AD332 AD352 AD442
AD532 AD592 AD662 BB41
CC01 CC02 CC03 CC07 CC18
CC23 DD08 DD22 DD23 DD27
DD30 DD31 DD41 EE06 EE11
4H059 BC23 DA09